

八幡平市



そば打ちの職人から直接指導を受ける参加者(北館製麺)

ぶらっと一日楽しめる商店街が始まります

ぶらっと一日体験工房荒屋新町商店街オープンイベントは11月1日、安代地区荒屋新町商店街などで行われました。市商工会などが企画したもので、荒屋新町商店街にある製造小売店での体験観光を軸に、商店街の魅力を市内外に情報発信することが目的。企画には、岩手県立大学の学生によるNPO法人「学生ビジ



職人との会話も魅力の一つ(田鎖畳店)

ニテイいわて」などが加わり、若者の視点からの新たな提案も各所に盛り込まれました。オープンングセレモニーで高橋富一市商工会長は「商店街環境が激変する中で、商店街活性化の起爆剤として地域全体に波及することを期待します」とあいさつ。体験工房を実施したふうせつ花、麴屋ともみや、田鎖畳店、勝田屋、北館製麺、加幸屋のぼる、安比塗漆器工房では、延べ110人の参加者が職人の技に触れながら、各工房のオリジナルメニューを体験しました。各工房では引き続き体験メニューを実施し、新たな商店街の魅力を伝えていきます。

タイ国タマサート大学の学生など22人は、10月21日から30日まで本市を訪れ、市民と交流を深めました。旧西根町で始まったこの交流は今年で12回目。一行は市ホストファミリーの会などの家にホームステイしながら、日本の生活文化を体験しました。参加したニッキさんは「生け花などきれいにできて、楽しかった。初めての体験ができてうれしかった」と笑顔を輝かせていました。

日本文化を学ぶタイの学生と交流を深める



学生たちは、茶道や生け花などを体験しました



6年生による劇「真夜中のサンタクロース」の一場面

伝統と文化を受け継ぐ寄木小文化祭を開催

寄木小学校(菅野絹子校長、児童98人)の文化祭は10月25日に行われ、多くの地域住民が詰め掛けました。開会行事で菅野校長は「地域の人たちのすばらしい作品や、子どもたちの作品がたくさん展示されています。短い間での準備でしたが、一生懸命練習してきた発表をゆっくりご覧ください」とあいさつ。劇などで見せる児童たちの真剣な表情に、会場からは大きな拍手が送られました。